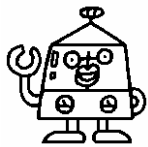


メダカのふ化で、はじめにできるのはなんなの



けんび鏡で見てわかるのは、頭の形と目だね。およそ1週間後には、動いている心臓しんぞうや赤い血なども見えるよ。

ふ化するときの、メダカのたまごの変化

オスの精子せいしをかけられて受精じゅせいしたメダカのたまごの中には、最初は、あわのような油の玉が数個見られます。

数時間後には、油の玉がへり、たまごの中にふくらんだ部分ができます。

およそ3日後には、たまごの真ん中に頭のようなものが見え、やがて、目がわかるようになります。

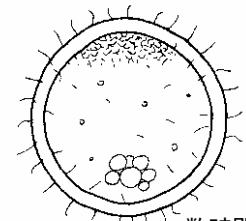
約1週間後には、大きな目や細長い体の形がわかるようになります。そして、動いている心臓や赤い血が見え、約10日後には、体がぴくぴく動くようになります。

約2週間後には、おなかの部分がまるくふくらんだ子魚が出てきます。

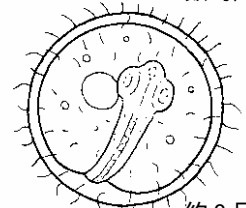
水温によって、ふ化する日数はちがってくる

メダカのふ化する日数は、水温によってかなりちがいます。たとえば、15 ぐらいの低温だと約30日、18 ぐらいなら約20日、20 になると約17日、25 では約10日で子魚が生まれてきます。水温が高くなるほど、早くふ化するといえます。

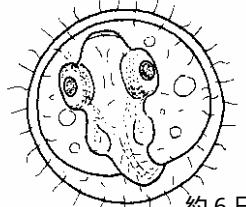
でも、30 以上もの水温では、メダカは弱ってしまいます。水温の変化がはげしいのはよくないので、水そうを日光が当たる所には置かないようにしましょう。



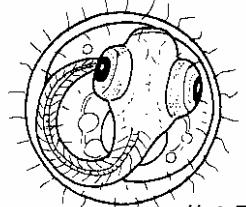
数時間後



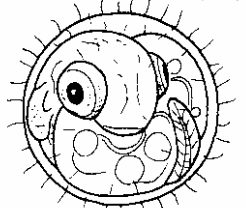
約3日後



約6日後



約8日後



約10日後

メダカのたまごの変化 ▶